



兵庫県立かこがわ清流特別支援学校だより

発行日 令和8年1月23日(金) 第10号

開校準備室に、新しいメンバーが加わりました！

令和8年1月1日に、「かこがわ清流特別支援学校」が設置されました。そして、開設準備室も「開校準備室」となり、県立のじぎく特別支援学校内に移転しました。新たに6人のメンバーが加わり、校長、教頭、事務長を合わせて9人で準備を進めていきます。

4月の開校に向けて、子どもたちが安全で安心して過ごせる環境を整え、そして個々に応じた教育活動を行うことができるよう、精一杯取り組んでまいります。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



校章のデザインの「感謝状贈呈式」を行いました。

12月24日(水)、県立明石高等学校美術科の生徒3名の皆さんに、校章デザインの最優秀作品・優秀作品として感謝状を贈呈しました。この日は高等学校の終業式当日でしたが、午後の貴重な時間を使い、校長先生方とともに住吉庁舎までお越しいただきました。

贈呈式では、これまで作品を通してでしか知ることのできなかった生徒の皆さんと、初めて直接お会いすることができ、大変うれしく思いました。また、明るく爽やかな受け答えがとても印象的で、こちらが元気をいただくひとときとなりました。その中で、制作に込めた思いや工夫した点についてのお話も伺うこともでき、温かい雰囲気の中で式を終えることができました。

新しい学校のシンボルとなる校章デザインを手がけてくださった生徒の皆さんに、心より感謝申し上げます。



現在の工事状況と内部の様子です。

校舎の外装が終わり、白い校舎が現れました。内装工事も進んでいます。



朝日に輝いています！

廊下や、教室の内装です。



多目的室です。

増築棟の工事も進んでいます。



「ゆめと希望」の種

大寒を迎え、小雪がちらつく日もあり、冬の厳しさが深まってきました。

先日、加古川養護学校の校長先生から伺った“加古川沿いの朝靄”のお話が心に残り、実際に足を運んでみました。朝日が差し込む中、白くけむる川辺の景色はとても幻想的で、思わず立ち止まってしまいました。一方で、このような朝の風景の中では、登下校や車の運転にはいつも以上に注意が必要だと感じましたが、それもまた加古川沿いらしい冬の姿だと改めて思いました。四季折々に表情を変えるこの地域で、子どもたちとともに日々を積み重ねていけることを嬉しく思います。新しい学校での学びが、自然と地域に寄り添う温かい時間となるよう、準備を進めてまいります。

※ 第11号は、2月下旬頃を予定しています。[\(兵庫県立かこがわ清流特別支援学校 HP をご覧ください\)](#)

